

EUSI メールマガジン Vol. 012 イベント報告「EU はなぜアジアに惹かれるのか？」

EUSI (EU Studies Institute in Tokyo)は、一橋大学・慶應義塾大学・津田塾大学の3校のコンソーシアムによるEUに関する教育・研究・広報を行う拠点です(詳しくは以下をご覧ください)
http://eusi.jp/content_jp/aboutus/about_eusi/

【EUSI イベント報告「EU はなぜアジアに惹かれるのか？」】

2012年5月19日(土)、ストックホルム大学政治学部のシェル・エンゲルブレクト准教授をお招きして、「EU はなぜアジアに惹かれるのか？」というテーマで慶應義塾大学にてご講演を頂きました。この講演は、エンゲルブレクト先生が前年にスウェーデン国防省の委託研究の中でまとめた「アジアの安定を促進するためのEUの3つの方策」と題した政策提言を基にしたものです。

エンゲルブレクト先生は、かつてロバート・ケーガンが評したように、欧州は米国とはパワーのあり方で異なっており、『若草物語』の一節を引きながら、パワーの美德とは「穏当であること」(modesty)だと説いています。すなわちパワーを強制力として攻撃的に行使するのではなく、必要な場合以外なるべく抑制的に行使するよう努める一方で、むしろソフトパワーを積極的に活用すべきであるとの立場から、EUのアジアにおける役割を述べています。

エンゲルブレクト先生は、EUの対アジア政策を分析する上で、アジアの中でも最も重要な日本・中国・インドの3国に分けて分析を試みています。さらには政策分野に関しても、外交・安全保障・通商の3つに分けて、それぞれの政策分野においてEUがどのように多様な政策を展開しているかを明らかにしています。それだけに、エンゲルブレクト先生の分析は極めて広範なものでした。

まずアジアでは、日中印それぞれEUとの関係性が異なることを強調しています。日本は、EUの対アジア関与の拡大を基本的に支持し得るだけの価値を共有しているものの、インドはかつての英国による植民地統治や非同盟方針などでEUの対アジア関与には好意的ではなく、中国もEUとは政治システムや民主主義や人権といった価値が共有されていないため、一貫した具体的政策を打ち出すには困難な状況にあります。

また安全保障面でも、日本はより積極的な貢献を模索しつつも、欧州とではなく日米同盟を基軸とし、抑制的な役割しか果たし得ない中にあるのに対して、中国は急速に軍拡を推し進め、インドも核開発や原子力協定・軍の近代化に着手しており、極めて不安定な状況にあることを指摘しています。通商面では、EUとの貿易量は日本を除いて飛躍的に拡大しているなか、特に中国への武器禁輸問題の対処が重要と説いています。

このような中でEUが目指すべき対アジア政策とは何なのでしょう？ エンゲルブレクト先生は、外交面ではトップレベルでの対話枠組を通じて関係性を強化してゆくことであり、安全保障面ではNATOの「平和のためのパートナーシップ」に見られるような信頼醸成や、軍事訓練や警察行動などの協力を押し進める

べきと説いています。また対中国武器禁輸はいずれ解除すべきであり、むしろ今後はEUの武器禁輸に関する「行動規範」に沿った規制に移行すべきであると説いています。

これらは米国と比べると決して積極的なものではありません。ただしエンゲルブレクト先生は、EUは自らの果たし得る役割に決して幻想を抱くことなく、むしろ穏当なパワーの行使であるが故に、EUは中長期的な視野でこれらアジア諸国に対してプレゼンスを高めてゆくべきなのだと説いています。

当日は大変示唆に富んだ、素晴らしい講演会となりました。遠くからいらして下さったエンゲルブレクト先生には心より感謝申し上げます。

【EUSI イベントご案内】

EUSI 国際コンファレンス

EU Asia Japan Day

"The EU at a Crossroad: The Euro-zone Crisis under Globalisation"

日時: 2012年10月13日(土) 9:30-17:55

場所: 津田塾大学 千駄ヶ谷キャンパス 津田ホール

言語: 英語 (同時通訳)

参加無料・事前申込要 (以下のHPをご参照下さい)

http://www2.tsuda.ac.jp/eusi/activity/outreach/121013_Conference/index.html

EUSI シンポジウム「EUの対外関係」

日時: 2012年10月23日(火) 13:00-17:30

場所: 一橋大学 国立西キャンパス 佐野書院

言語: 英語

参加無料・事前申込不要

「リスボン条約以降のEUの共通通商政策」 C・ヘアマン (パッサウ大学教授)

「EUと日本間のFTAと政治協定」 中込正志 (外務省国際法局条約課長)

「EUの対外活動における諸原則」 中西優美子 (EUSI、一橋大学教授)

http://eusi.jp/content_jp/outreach/seminar/20121023_symposium.html

EUSI ワークショップ「法的側面からの金融危機」

日時: 2012年10月25日(木) 15:00-17:00

場所: 一橋大学 国立東キャンパス マーキュリータワー5階 3503

言語: 英語

参加無料・事前申込不要

「欧州金融憲法の改革」 クリストフ・ヘアマン (パッサウ大学教授)

http://eusi.jp/content_jp/outreach/seminar/20121025_workshop.html

【EUに関するニュース】

2012年9月14日 欧州委員会、「研究とイノベーション面での国際協力の促進と集中」コミュニケーション採択

2012年9月17日 欧州委員会、武器以外全ての対ミャンマー貿易優遇措置の復活のための提案を採択

2012年9月17日 メルケル独首相、ECB銀行監督一元化は時間をかけて信頼ある監督機関稼働を行うべきと主張

2012年9月17日 Eurostat、7月貿易収支(調整前)はユーロ圏で156億ユーロ、EU全体で31億ユーロ分の赤字と発表

2012年9月18日 ギリシャ財務相、基礎的財政収支拡大の一方、トロイカの名目財政赤字目標は達成見込と言及

2012年9月18日 ECB、9月14日時点のユーロ圏各国中銀の純外貨資産は2349億ユーロ、前週比41億ユ

- 一口減
- 2012年9月18日 駐日 EU 代表部ローデ公使参事官、「EU の 20-20 環境目標と EU の燃料電池・水素の研究」講演
- 2012年9月18日 バイトマン独連銀総裁、中央銀行の独立性と安定重視の政策が肝要と講演。ECB 債権購入を念頭
- 2012年9月18日 欧州自動車工業会(ACEA)、EU 域内新車販売台数は7月前年同月比7.8%減、8月同8.9%減と発表
- 2012年9月19日 IT・製薬・小売など欧州の10の業界団体、日・EU EPA 交渉の早期開始を求める共同声明発表
- 2012年9月19日 エロー仏内閣、EU 新財政協定の批准案を承認
- 2012年9月19日 米 Apple 社と大手出版4社、欧州委員会に小売業者の電子書籍値引販売を容認する和解案を提出
- 2012年9月20日 第15回 EU・中国定期首脳協議。環境保護・競争政策・イノベーション協力など4協定に調印
- 2012年9月20日 欧州教育情報ネットワーク、欧州の学校における言語教育に関する2012年報告書を発表
- 2012年9月20日 財務相、8月貿易統計発表。対 EU 貿易赤字は962億円と過去最大、対 EU 輸出前年同月比22.9%減
- 2012年9月21日 アシュトン EU 上級代表、ミャンマーの政治犯恩赦決定に対し歓迎を表明
- 2012年9月21日 アシュトン EU 上級代表ら、ウクライナ検察権制限法可決に失望、欧州基準の検察改革逸失と表明
- 2012年9月24日 アシュトン EU 上級代表ら、前日のベラルーシ議会議員選挙の非民主的実施に対して遺憾を表明
- 2012年9月24日 欧州委員会、米国政府のボーイング社への補助金の WTO 協定違反是正措置に対し、不十分と評価
- 2012年9月25日 アシュトン EU 上級代表、最近の東アジア海域の動向懸念、関係国が国際法に従い沈静化と主張
- 2012年9月25日 ドラギ ECB 総裁・アスムセン ECB 専務理事、メルケル独首相とベルリンで会談
- 2012年9月25日 EU 理事会、持続可能でない漁業操業の国々への基本枠組採択。魚類資源管理・共通政策を目的
- 2012年9月26日 ギリシャで新政権下初のゼネスト開催
- 2012年9月27日 ESM 条約発効。時限的枠組(EFSF)から常設的枠組(ESM)へ。総額7000億ユーロ(約70兆円)融資枠
- 2012年9月27日 スペイン政府、2013年予算案(前年比7.3%歳出減)と経済改革案を発表。レーン欧州委員も歓迎
- 2012年9月27日 アシュトン EU 上級代表、テイン・セイン・ミャンマー大統領と会談。同国の民主化努力を評価
- 2012年9月27日 欧州委員会、クラウド・コンピューティングに関する新戦略を発表
- 2012年9月27日 欧州委員会、EU 航空業界の競争力向上のため、主要国協調・公正競争・投資が柱の包括政策提示
- 2012年9月27日 駐日欧州連合代表部、EU 短編アニメ作品上映会。アルス・エレクトロニカ 2011年入選作15作品
- 2012年9月28日 スペイン政府、国内銀行に対する厳格なストレステストの結果を公表。593億ユーロの資金不足
- 2012年9月28日 欧州委員会、「EU の雇用・社会状況に関する報告書」第2四半期分を発表。失業・貧困格差深刻
- 2012年9月28日 欧州委員会、EU における未成年単独渡航者に関する行動計画実施中間報告書を採択
- 2012年9月28日 アシュトン EU 上級代表、法務省による2名の死刑執行に対して遺憾を表明
- 2012年9月28日 キャメロン英首相、次期総選挙後に EU 脱退を問う国民投票を行うことを示唆

【編集後記】

今回の巻頭では、EUとアジア関係を取り上げました。欧州危機が続く中、東アジアでは日本と中国・韓国との政治関係の悪化が各国経済に暗い影を落とす事態になっています。
こうした中で、「欧州統合の発展を、アジアの地域統合への糧としよう」といった議論がやや下火になっているようにも見えます。
しかしこうした時期にこそ、「不戦共同体」として誕生し、その後何回かの危機を乗り越え、現在のEUに至る歴史から学ぶべき点がある、と言えるでしょう。

(林 秀毅・EUSI・一橋大学・EUSI メールマガジン編集担当)

先日まで長く暑い夏が続いたかと思いきや、季節は一気に秋の様相を呈して参りました。昔から「勉強の秋」の言葉どおり、秋は学会シーズンでもあり、これから様々なイベントが続きます。EUSIでも10月に大きなコンファレンスやシンポジウムが3つも入っているのは偶然ではなく、今後もこのような知的な機会を数多くご提供できればと願っております。
ちなみに、EU研究の学会である日本EU学会年次大会は11月10-11日、東京大学駒場キャンパスで開催されます。EUSI所属の研究者も何名か報告の予定です。また昨日よりIMF・世界銀行年次総会が東京で開催されていますが、10月12日(金)と13日(土)午後には「ユーロとヨーロッパ」と「ユーロ圏の強化」というEUとユーロに関するセミナーなども開催されています。
どうぞこの機会にEU研究に関するイベントなどに足を運んで頂ければ幸いです。

(林 大輔・EUSI 慶應分室・EUSI メールマガジン編集担当)

EUSI (EU Studies Institute) in Tokyo
〒186-8601 東京都国立市中 2-1
一橋大学 マーキュリータワー#3504 EUSI 事務局
TEL: 042-580-9117 / E-mail: info@eusi.jp

ご意見、ご感想、配信登録・配信停止、その他メールマガジンについての
問い合わせにつきましてはこちら
E-mail: info@eusi.jp
